

肌で感じた中国の消費！～中国訪問記～

これまで、経済発展を続ける中国のさまざまな変化をご紹介してきました。今回はそんな「中国の現状」を直接見てみよう！ということで、弊社社員の広州・深圳訪問記です。

●地下鉄（深圳）

街の様子を知るために乗ったのですが、今年初めに発行されたガイドブックよりも路線が大幅に増えていたことに驚きました。

5年程前に初めて深圳を訪れた際は2路線でしたが、2011年現在は5路線に。2016年までにはさらに4路線増やす計画だとか。

●コーヒー（深圳）

読得No.46でもご紹介しましたが、スターバックスのコーヒーは1杯25元程度（約300円）。地下鉄の初乗り（2元）と比べてかなり割高にも関わらず、席がないほど賑わっていました。

中国国内では、大都市を中心にコーヒーの消費量が伸びていますが、国別の消費量ランキングではまだ後ろから数えるほど。スターバックスが中国で店舗網を拡大している背景がわかります。

●スマートフォン（深圳）

街を歩くとスマートフォンを操る人が。携帯電話販売店では日本と同様、展示の中心はスマートフォンで、1,000元（約1万2,000円）を切る国内メーカー品から5,000元（約6万円）に近い海外メーカー品まで種類、価格帯共に幅広く揃っていました。

ロイターによれば、中国における2011年第3四半期のスマートフォンの出荷台数は、過去最高の2,390万台。ついにアメリカを抜いて世界一位となりました。この勢いは、まだまだ続きそうです。



コーヒー店でにぎわう人々

Wi-Fi接続が可能なので、インターネット利用者も多く見られます。



ZTE（右奥）

深圳に本社を置く中国の携帯電話メーカー

景気減速懸念が出ている中国ですが、消費意欲は依然旺盛で、現地を見る限りでは内需を中心とした景気の底堅さを感じました。

*上記は、あくまで執筆者の見解であり、弊社またはその関連会社のいかなる部署・部門の視点を反映するものではありません。